



東峰村長 高倉秀信



年頭の

新年明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を、お迎いの事とお慶び申し上げます。本年も変わりませず村行政に対し、ご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。

さて、平成23年を振り返りますと、東峰村に於いては1月、2月と大雪に見舞われ農業施設や森林被害が発生し、その被害の調査、復旧に取り組みました。3月11日には東日本大震災が発生し、未曾有の被害をもたらしました。村に於いても、村民の皆さんのご協力、ご支援をいただき、義捐金の送付や被災者支援の為に職員3名の派遣、公共施設を支援利用可能施設として届出も行っている所で、被災地の一日も早い復旧、復興を願うものです。

村では大規模災害に対応するため、国土交通省九州地方整備局と「応援協定」を締結しました。この協定により、国から人的支援やヘリコプター、排水車、衛星通信車など資材、機材の提供、が出来ることになりました。又、4月には東峰学園を開校いたしました。教育の村、東峰村として将来の村を背負って行く児童生徒を育て、国や世界に活躍する人材を育てて行く、村ならではの教育制度です。児童生徒が充実した学園生活、教育環境の向上等に教育委員会と連携して支援をして参ります。更に、安全対策としては、朝倉警察署との連携にて、村独自の東峰村セーフティスクールエリアを新たに設定し、児童生徒の交通安全対策に努めております。9月には、小川福岡県知事が就任後、第1回目の「ふるさと訪問」実施で、村を訪れました。知事は「東峰村は県下でも最少人口でありながら村民皆さんがそれぞれの立場で地域づくり、地域振興に尽力している地域である」との事で、来村戴きました。伝統工芸の小石原焼、高取焼にも期待をしておられ、今後も中山間地域、過疎地域の先進地として「誇れる村づくり」の推進に努めて参ります。東峰村情報通信整備も、御蔭で、各家庭を光通信で結ぶことが出来、有線テレビの加入率も概ね100%に近い状況です。緊急時には無線と有線による情報提供、一人暮らしの皆さんの見守りサービスも開始し、より安心・安全な村づくりに役立てて参ります。とうほうテレビも11月に開局1周年を迎え北海道占冠村(しむかつぶむら)、兵庫県姫路市、東京杉並区、熊本県人吉市、合志市の住民デレクターの皆さんとのネットワークによる中継放送で、いろんな交流が出来ました。今後は、東峰テレビ局を設置し放送事業部と制作事業部を置き、放送事業部は役場CATV係が、制作事業部は(株)プリズムが受け持ち、更にグレードアップした事業に行きたいと思っております。農林業の振興に於きましては、東峰村農林業振興協議会の中の生産検討委員会、流通販売検討委員会を中心に集落営農組織化や共乾施設、機械利用組合の設立に向けた取り組みや特産品開発、ブランド化、鳥獣害対策等々に取り組んで戴きました。今後も、成果が上がるよう推進して参ります。経済振興につきましては、商工会のプレミアム商品券事業が22年、23年と好評でありました。今後も、商工会、陶器協同組合、陶の里、鼓の里、ふるさと村や筑前あさくら農協、朝倉森林組合など関係団体と連携して経済振興に繋げて参ります。この他に、公有遊休地におけるメガソーラ発電所計画については、関係機関と協議中であり、更に、環境にやさしい「自然エネルギーを活用した村づくり」に努めます。次に、財政状況ですが、合併後、行財政改革に取り組んで参りました。合併後の平成18年から昨年までの5年間で財政状況は、大きく改善されています。

今後とも、持続可能な村づくり、持続可能な村づくりを自助・共助・公助の協働を村民の皆さんと推進し、村民の方一人ひとりが「本当に住んでよかった」と実感できる村づくりを実践して参りますので、村民の皆様には、今まで以上のご厚情とご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、輝かしい年となりますよう各位のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



あいさつ

東峰村議会議長 森山金光

新年あけまして、おめでとうございます。初春に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、想像の域をはるかに超えた未曾有の災害「東日本大震災」により、復旧・復興をあらゆる分野で求められる一年となりました。また、世界経済の急激な減速、欧米財政問題の混乱、国際金融市場の不安定化、円高の進行等により、日本経済の安定化に向けては先行き不透明なままでの越年となりました。

本村におきましては、経済・雇用情勢は同様の状況にありましたが、東峰学園の開校や、本村出身者のスポーツ界での活躍など、皆様に夢と勇気を与える話題が数多くありました。村づくりにおいては、臨時交付金により全村を対象にハード面の整備を進めることができました。また、宝珠山診療所の開院など皆様から求められている課題もいくつかは解消できたものと思っております。

本年度は、村の基幹産業である小石原焼きをはじめとした地域産業の活性化や、TPPに対応しうる農林業の振興を図り、より豊かな住みよい村づくりに努めていかなければなりません。

小石原川ダム事業につきましては、早期事業着手に向けて、国・県道の改良については、更なる進捗を求めて、関係団体と連携し強く国に働きかけをしていく所存です。

さて、本村の人口は、ここ数年来、急激に減少しており、予想を上回るスピードで過疎化への進行が懸念されます。少子高齢化に対応する今後のむらづくりにも、これまで以上に真剣に取り組まなければならないものと考えております。

そのために我々議員は、村民皆様のご期待に応えるため、より多くのご意見に耳を傾け、山積する課題に全議員の力を結集し、取り組んでいく必要があります。

また、昨年は「地方分権時代に即した議会改革」を目標に「開かれた議会・議会活性化」に取り組みました。本年も、継続して行うためにも、議員自ら研鑽を深め、議会の改革・活性化、チェック機能のより一層の充実を図り、その使命達成に努めてまいります。

皆様とともに、生活や地域に力と元気を取りもどしたいと存じます。東峰村政へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。この一年が、平穏でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

